

## 令和3年度 第2回加西市総合教育会議 会議録

- 1 開会日時 令和3年10月19日(火) 15時30分
- 2 閉会日時 同日 17時10分
- 3 開催場所 加西市役所 5階大会議室
- 4 出席委員  
市長 西村 和平  
教育長 民 輪 惠  
教育長職務代理者 沼澤 郁美  
委員 楠 田 初美  
委員 中 川 和之  
委員 深 田 英世
- 5 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名  
ふるさと創造部長 千 石 剛  
ふるさと創造部 人口増政策課長 藤 後 靖  
ふるさと創造部 人口増政策課係長 岩 野 裕之  
ふるさと創造部 人口増政策課主任 垣 谷 直宏  
教育委員会事務局 教育部長 植 田 正吾  
教育委員会事務局 次長 高 倉 慧喜  
教育委員会事務局 教育総務課長 伊 藤 勝  
教育委員会事務局 課長(学校施設担当) 井 上 英文  
教育委員会事務局 学校教育課長 安 富 重則  
教育委員会事務局 こども未来課長 丸 山 常基  
教育委員会事務局 生涯学習課長 北 島 悦乃  
教育委員会事務局 図書館長 藤 川 貴博  
教育委員会事務局 総合教育センター所長 工 藤 憲人
- 6 傍聴者 一般：2名、報道機関：0名
- 7 協議事項  
(1) 令和4年度予算について  
(2) 学校あり方検討スケジュールについて  
(3) 加西市の「教育のあり方」に係る勉強会について
- 8 会議内容  
別紙のとおり

## 会議録

### 次第

- 1 市長あいさつ
- 2 教育長あいさつ
- 3 協議事項

#### (1) 令和4年度予算について

##### 〔意見・質疑〕

委員 各課からの説明を聞き、どれも大事であり認めて欲しいというのが本音である。

STEAM 教育については、教育長をはじめ加西市として取り組もうとしている中、教員の反応には「また新しいものが入ってくるのか」、「働き方改革が言われている中でまた忙しくなる」といったように完全には理解が進んでいないように感じる。STEAM 教育でどういことができるのか、教員の中にもっと STEAM 教育の良さを浸透させていかなければならない。

給食費の公会計化については、PTA からも市でお願いしたいとずっと言われてきているのでぜひお願いしたい。

総合教育センターの研修設備については、施設を含めかなり老朽化している。コロナ禍でオンライン研修の機会も増えたことから設備の充実をお願いしたい。

図書館については、子供たちがクロームブックを使い始めて授業の様子も変わってきた。電子図書館の導入によりさらにもう一步進めて欲しい。

生涯学習課については、加西の歴史の中で、多くの古い文化財があるが、なかなか市民の目に触れていないのが現状である。いかにして市民の目に触れてもらうか、加西の魅力を知ってもらうためにも施設の充実は大切である。

こども未来課については、全園訪問を行ったがやはり人材不足を感じた。できる限りの配慮をお願いしたい。

委員 建物に関しては、どの小学校、中学校においても蛍光灯が使用されており、老朽化により暗く照度自体に問題のあるところが多くあるため、LED 化を早急に進めていただきたい。

学校給食の公会計化については、保護者にあっては特にコロナ禍で苦勞している部分が大いなので早急をお願いしたい。

学校訪問は、去年コロナ禍でできなかったが、2年前と今回の授業風景を見比べると、GIGA スクール構想によるクロームブックの整備によってオンライン授業が進み、1年でこんなにも変わるものなのかと感じた。一つ気になった点は、先生方は一生懸命クロームブックを使い児童・生徒に教えているが、先生によって教え方や内容が異なっていたり、児童・

生徒がなかなかついていけないというところがあった。ここまで先生方の努力によりや  
ってきているので、一步先の STEAM 教育を進めるためにも先生方のレベルの向上は必要  
不可欠である。そのための研修講座も充実させていただきたい。

委員 教育委員会として STEAM 教育の推進がモットーなので予算立てをお願いしたい。最  
初に教育総務課がコンサル料のことを言われたが、専門家を入れて正しく正確に、そして  
広い意味で将来を見据えての STEAM に取り掛かるためにも予算立てを切に思う。

例年、学校づくりの応援事業として各学校に予算を配分していただいているが、さらに  
STEAM 教育を進めるためには補助的な予算が必要なのでお願いしたい。

LED 化については、計画的に行っていただきたい。学校施設以外にも総合教育センターや  
図書館については早急に手を差し伸べていただきたい。

図書館については、小さな子どもたちが楽しく、入りやすく、また見やすいように大変良  
く工夫している。学生には、学校の授業で使う箇所がわかるように特設コーナーを設け  
たり、季節に関係のあるテーマの本を置くなど、少しでも図書館の利用者を増やそうと努力  
しているのが本当によくわかる。

コロナ禍において電子図書館のニーズが高まり、多言語の方への貸出しやクロームブック  
を用いて電子書籍を使うといったように、これまでより広い分野での活用もできるのでこ  
ちらもぜひお願いしたい。

委員 日本の財産、また加西の財産となる子供たちに最高の教育を受けさせたい。そのため  
の STEAM 教育の推進は、教育委員全員の願いである。これが加西市の将来のためになる  
と切に感じている。

今、鶉野飛行場跡地周辺の戦争遺跡の整備がどんどん進んでいる。それに伴い古墳や埋蔵  
文化財がたくさん発掘されてきているが、このように立派なものを市民、また全国さらに  
広く世界の方に見ていただきたい。加西にはこのように素晴らしい歴史があるということ  
を知っていただきたい。そのためにも立派な歴史博物館を造っていただきたい。文化の素  
晴らしい街には歴史博物館や美術館が必ずある。

市長 概括的な事業実施計画の議論の中で、ある程度お金の割当はしている。すでに示達を  
していて担当課長も知った上での話となっているので、今後担当課長と詰めていくが、基  
本的には皆さんの想いを無視したような示達はしていないと思っている。特に STEAM 教  
育については、全課想いを持った予算要求になっているので、すべて進めていくというこ  
とである。これは今年の加西市の教育予算の目玉になっていくというふうに思っているの  
で、中身について今後しっかりと詰めていきたい。

LED 化については、当然進めていくべきものだと思っているが、現在学校のあり方の中で  
既存施設をどうしていくかということの議論をしている。施設の長寿命化計画もできてい  
るが、どこから LED 化をしていくのかが重要である。例えば将来、施設の統廃合をするの  
であれば廃止していく学校が出てくる。その時にそれをどう活用していくかということも

当然考えていかなければならない課題である。

総合教育センターやオークタウン、北部公民館等についても、学校のあり方を踏まえた上で全体的な施設整備のことを考えていく必要はあるが、今の状況は良くないので、できるだけ早く少なくとも来年度予算で対応するつもりで頑張っていく必要があると思っている。公会計化については、その実が出るような結論は出したいと思っている。

低年齢児（0～2歳児）の施設整備については、いろいろ苦勞もあると思うが急いでほしい。この10年間で若い女性を取り込んで市内の子供たちを増やし、小学校の複式学級、中学校では単学級にならないようにという想いでやってきたが、既に中学校では単学級の学校が出てしまっている。現在、次のあり方についても検討しているが、まったく諦めたわけではない。インター周辺産業団地の整備は順調に進んでおり、当然雇用の場ができるということは人口の増える可能性は大いにある。そうした増やす手立ては様々講じていかなければならないが、これまでやってきた人口増施策については、やはり若い女性の方々の感性に触れるというか、これなら加西で子供を産み育てようというふうにはならなかったと感じている。今後、様々な施策を打っていきたいと思っているが、それは同時に並行してやっていく必要がある。少し思い切ったこともやりたいと思っているが、必要なことは今すぐにでもやらないといけないのでしっかり取り組んでいきたい。

歴史博物館の話があったが、現在、鶉野に地域活性化拠点施設の建設を進めている。施設が完成し運営していくには莫大な指定管理料がかかってくるわけだが、その中でも加西というこれだけの古い歴史・文化を後世に残すために象徴的な物は必要と考える。例えば、未来型児童館建設の構想があるが、その中に機能を兼ね備えることも検討していきたい。また、兵庫県がフラワーセンターに学芸員を配置して、千石コレクションの立派な施設を造っており、それが加西市の中にあるということでもっと活用できれば、さらに施設の充実も含めて考える余地はあるのかなと思っている。いずれにしてもやはり県の協力がなければ、歴史博物館の建設というのは難しいと思う。

## (2) 学校あり方検討スケジュールについて

〔意見・質疑〕

市長 どういう教育をするのかということについて、再編問題と同時に大変熱心に議論していただいた。また、新しい検討結果をしっかりと打ち出していける状況にさせていただいたことに関し、心から感謝申し上げます。しかしながら、しっかりと市民と一緒に結論を得ていくということが大事なので、その過程はかなり丁寧に進んでいくというふうに理解していただきたい。計画説明会については、市民との合意作業をしていく場所であるというふうに理解いただき、今後はこのスケジュールで進めていくものとする。

### (3) 加西市の「教育のあり方」に係る勉強会について

#### 〔意見・質疑〕

委員 傍聴という形で参加し、中堅の先生方がどういうふうにも子どもたちを見ているのかを見させていただいたが、熟議②の「加西市の目指す子ども像とは」の中には「勉強のできる子」という言葉はまったく出てこなかった。新任になったときの気持ちと中堅としてこれまでの体験を通して得た気持ちとでは、やはり違ってきていると思われるが、この機会に棚卸ができ、「あ、自分はこうだったな」とか「いや、こうならなければならないな」という一つの指針ができたことは、この勉強会の意義があったのではないかと思われる。今回を機に、また何かの機会での勉強会をステップアップしていただきたい。

委員 若い先生方が子どもたちのことを一生懸命に考えていることにとっても感激した。また、この勉強会を通して新しい発見もたくさんあったのではないかと思う。今までしんどいことや学校での多忙な事務で、こういったことを考える時間がなかなかなかったように思うが、この機会に他校の先生方と出会え、新しい発見ができ、新しい学校教育や未来の加西として何が必要なのかを、これからを担う若い先生方と熟議してきたことはとても有意義な勉強会だった。

今後もさらに突っ込んだ話合いやなんでも話せる場として継続していくことが大切である。このように先生方の一生懸命な姿を見ると加西の子どもたちは本当に幸せだなと感じる。

委員 学校のあり方や STEAM 教育のこと、学校あつての地域、地域あつての学校ということをよく先生方が理解されていると感じた。

一つ心配なのは、中間職から若手の先生がこれだけ未来の加西のことについての想いを持っているのに、管理職の意見によってそれが覆されるということはあってはならない。若手の先生がもっと中心になってやっていただけたら、もっと良い加西の教育ができるのではないかと思う。これだけ勉強をされて、ここまでやられているのでぜひこのまま何回も続けていただき、より良い教育を期待する。

委員 当日グループになられた先生に「今まで話したことはありますか」と聞くと「いや、こんなに真剣に話したのは今日が初めてです」と、そういう出会いの場になり、交流ができたことがとても大きな意義があったと思う。先生方は忙しいかと思うが、これを1回で終わらすわけにはいかないなと思った。

また、熟議にテキストマイニングを用いることで、より特徴のある太いところをもっと大きくするのか、小さいところに焦点を当てて改善していくのかというところで良い指標になったのではないかと思う。

協議事項(2)のスケジュールに戻るが、「加西市未来の学校構想検討委員会」には本当に様々な立場の人に集まっていただき、良いメンバー構成だと思う。今後、市民アンケートをされる前には、やはりいろいろな世代、いろいろな方の声が反映できるようお願いしたい。

計画説明会ですが、病院の同様の委員会に参加したが、区長会で割り当てられるような形で参加した。やはり初めから通して参加していたらもっと良かったのにと感じたので、この学校のあり方については今後どういうふうになるかわからないが、やはり連続してこそすべてがわかる。ひいてはそれが市民に、また地域にといろいろな会に反映していくような形にしていきたい。

市長 続けていくことは労力も必要であり大変だと思うが、その素案は出させていただき一定の議論をした段階で現場にも行かせていただきたい。

先生方がこういう機会に、加西の教育を自分たちで創り上げていこうと思っていただく、当事者意識すなわち教育の分野でよく言う主体性ということがその中で育まれていったと思う。この機会に現状をしっかりと見つめていただいたことが大変重要である。

次の再編の議論についても、やはり先生方が本当にこれで自信を持ってやれるという形になることが一番なので、その議論については、メンバー選定を含めていい時期に工夫してやってもらいたい。いいものを創ろうと思うと、皆が仲良くしていかないといけないので今後もよろしく願いたい。

最後に、教育委員の皆様には毎年しっかり現場を見ていただき感謝申し上げます。

#### 4 その他

教育長 協議事項(3)のミドルリーダーたちによる勉強会を行ったが、今回初めて開催したと言われ大変驚いた。今まで小・中の教員のコミュニケーションの機会があまりなかったようだ。最近、加西市教育委員会として初めての試みだったとよく耳にする。教育総務課はじめ全課協力して新しい試みがやれるようになり大変心強く思っている。

その際に出てきた加西の子どもたちの分析に「真面目」、「言われたことはちゃんとやる」、「人懐っこくて優しい」、「他人の目を気にする」などがあったが、これらは子どもたちの特質というよりも、要は自分たち大人の合わせ鏡だなと感じた。加西の教師も市役所の職員も同じような資質を持っているのだろう。そのこと自体は決して悪いことではないが、やはり勇気を持ってイノベーションもしていかなければならない。自分たちを否定するわけではないが、自分たちの頭の中にある初期設定みたいなものを一度疑わなければならない。

そういうことを現場の教師と一緒にやっていくのはなかなか大変な作業だが、それでも少しずつでも前進するよう委員会皆が頑張ってくれている。STEAMについても、この短い間にこれだけのプレゼンテーションができるものにまとめてくれているので大変力強く思っている。市長とも話をすれば大筋では、ほぼ一致できるというふうに思っているので、努力して、これからも加西市の教育をより良いものにしていきたい。皆様には今後とも引き続き協力をよろしく願いたい。